

中部電力グループにおける節電の取り組み

- 中部電力グループは、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づき、事業場の省エネ活動の取り扱いを定め、日ごろから省エネ・節電対策に取り組んでいます。
- 加えて、夏季の需給見通しを踏まえ、7月1日から9月30日の間に無理のない範囲で節電効果をより高める取り組みを実施するよう、6月1日に全社に通知を発信いたしました。
- 具体的な取り組み内容としては、空調の運転状態および設定温度の適切な管理、ブラインドや緑のカーテンの活用、照明の間引き、エレベーターの稼働台数の見直しなどに取り組んでいきます。

	メニュー	節電効果※
照 明	・ 使用していないエリア（会議室・廊下等）は消灯する	2.8%
空 調	・ 執務室の室内温度を28℃ とする	3.6% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
	・ 使用していないエリアは空調を停止する	2.0%
	・ 日射を遮るために、ブラインドや緑のカーテンを活用する	3.4%
エレベーター	・ 稼働台数の見直し、間引き	1.0%

節電メニューと効果（1 / 8）

- 事業者向けの主な節電メニュー、節電効果は以下の通りです。

<オフィスビル>

	メニュー	節電効果※
照 明	・執務室の照明を半分程度間引きする	11.8%
	・使用していないエリア（会議室・廊下等）は消灯する	2.8%
空 調	・執務室の室内温度を28℃ とする	3.6% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
	・使用していないエリアは空調を停止する	2.0%
	・日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する	3.4%
	・冷凍機の冷水出口温度を高め設定し、ターボ冷凍機、ヒートポンプ等の動力を削減する	2.0% (セントラル空調の場合)
OA機器	・長時間席を離れるときはOA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする	2.4%

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（2 / 8）

<卸・小売店>

	メニュー	節電効果※
照 明	・店舗の照明を半分程度間引きする	10.0%
	・使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する	1.9%
空 調	・店舗の室内温度を28℃とする	2.2% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
冷蔵・冷凍	・業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う	1.4%

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（3 / 8）

<食品スーパー>

	メニュー	節電効果※
照 明	・店舗の照明を半分程度間引きする	7.1%
	・使用していないエリア（事務室、休憩室等）や不要な場所（看板、外部照明、駐車場）の消灯を徹底する	1.0%
空 調	・店舗の室内温度を28℃とする	1.0% （室内温度を26℃から28℃にした場合）
	・使用していないエリア（事務室、休憩室等）は空調を停止する	1.0%
冷蔵・冷凍	・業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う	6.9%

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（４／８）

<医療機器>

	メニュー	節電効果※
照 明	・事務室の照明を半分程度間引きする	3.5%
	・使用していないエリア（外来部門、診療部門の診療時間外）は消灯を徹底する	3.5%
空 調	・病棟、外来、診療部門（検査、手術室等）、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う	1.1%
	・使用していないエリア（外来、診療部門等の診療時間外）は空調を停止する	1.0%
	・日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する	1.0%

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（5／8）

<ホテル・旅館>

	メニュー	節電効果※
照 明	・客室以外のエリアの照明を半分程度間引きする	7.1%
空 調	・使用していないエリア（会議室・宴会場等）は空調を停止する	1.0%
	・ロビー、廊下、事務室等の室内温度を28℃とする	1.2% (室内温度を26℃から28℃にした場合)

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（6／8）

<飲食店>

	メニュー	節電効果※
照 明	・使用していないエリア（事務室等）や不要な場所（看板、外部照明等）の消灯を徹底し、客席の照明を半分程度間引きする	6.5%
空 調	・店舗の室内温度を28℃とする	3.7% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
厨 房	・冷凍冷蔵庫の庫内は詰め込みすぎず、庫内の整理を行うとともに、温度調節等を実施する	1.0%

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（7 / 8）

<学校（小・中・高）>

	メニュー	節電効果※
照 明	・執務室の照明を半分程度間引きする	8.7%
	・使用していないエリア（会議室・廊下等）は消灯を徹底する	1.0%
空 調	・教室、職員室等の室内温度を28℃とする	3.4% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
	・使用していないエリア（教室、音楽室等）は空調を停止する	3.9%

※ 記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する目安です。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 一定の条件の下での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

※ 節電を意識するあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

節電メニューと効果（8 / 8）

<製造業（1 / 2）>

	メニュー	節電効果※
生産設備	・不要又は待機状態にある電気設備の電源オフ及びモーター等の回転機の空転防止を徹底する	—
	・電気炉、電気加熱装置の断熱を強化する	7% (保温施工の場合)
ユーティリティ設備	・弁の閉め忘れや継手・ホースからの空気漏れをなくす	—
	・使用側の圧力を見直すことによりコンプレッサの供給圧力を低減する	8% (単機における0.1MPa 低減時の場合)
	・コンプレッサの吸気温度を低減する [設置場所の室温と外気温を見合いする]	2% (単機における吸気温度10℃低減時の場合)
	・負荷に応じてコンプレッサ・ポンプ・ファンの台数制御を行う	9% (コンプレッサ5台システムでピーク負荷60～80%の場合)
	・インバータ機能を持つポンプ・ファンの運転方法を見直す	15% (弁の開閉状態の確認・調整によりインバータ機能を活用し全圧が80%となった場合)
	・冷凍機の冷水出口温度を高め設定し、ターボ冷凍機・ヒートポンプ等の動力を削減する	8% (利用側の状況を確認しながら7℃から9℃へ変更した場合)

※ 記載している節電効果は、機械・設備毎の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。そのため、設備内容や利用状況等によって効果は異なる場合があります。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。

節電メニューと効果（8 / 8）

<製造業（2 / 2）>

		メニュー	節電効果※
一般設備	照 明	・使用していないエリアは消灯を徹底する	—
		・白熱灯を電球形蛍光ランプやLED照明に交換する	85% (白熱灯60WからLED照明に交換した場合)
	空 調	・工場内の温度を28℃とする	6% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
		・外気取入量を調整することで換気用動力や熱負荷を低減する	8% (換気ファンの間欠運転または停止により30% 導入量を低減した場合)
		・室外機周辺の障害物を取り除くとともに、直射日光を避ける	10% (日射の影響を受ける室外機によらずをかけた場合)

※ 記載している節電効果は、機械・設備毎の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。そのため、設備内容や利用状況等によって効果は異なる場合があります。

※ 空調についての節電効果は電気式空調を想定しています。

※ 節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。



中部電力パワーグリッド